

入場無料

昭和館

しょうけい館

平和祈念展示資料館

3館連携 企画展

令和4年

11月18日(金)

→ 26日(土)

横浜市民ギャラリーあざみ野 展示室1・2

(神奈川県横浜市青葉区あざみ野南1-17-3 アートフォーラムあざみ野内)

午前10時～午後6時

主催：昭和館、しょうけい館、平和祈念展示資料館 後援：神奈川県、神奈川県教育委員会、横浜市健康福祉局、横浜市教育委員会

協力：一般財団法人神奈川県遺族会および一般財団法人日本遺族会第2ブロック

昭和館



日の丸の寄せ書き
昭和18年(1943)

しょうけい館



切断(『水木しげるのんのん人生』より) © 水木プロ

平和祈念展示資料館



田中武一郎 画《ヨーグルトをくれる主婦》

くらしにみる 昭和の時代

神奈川展

戦争による苦難と戦後の復興

実物資料、写真、証言映像を通して、昭和10年代から昭和30年代までの人々のくらしを紹介します。

戦傷病者の 労苦を伝える 神奈川展

水木しげるが伝えた戦争体験

漫画家・妖怪研究家として広く知られている水木しげるさんが体験された戦中・戦後の労苦を紹介します。

平和祈念展 in 横浜

抑留者の心に残った
シベリアでの出会い

終戦後、シベリアを始めとする旧ソ連やモンゴルに連行された戦後強制抑留者。彼らが異国の地で体験した「出会い」を紹介します。



平和祈念展示資料館(総務省委託)

昭和館

くらしにみる 昭和の時代

神奈川展

戦争による苦難と戦後の復興

昭和館（東京・九段下）は、戦中・戦後に国民が経験した労苦を次の世代に伝える施設です。本展では、昭和10年代から昭和30年代までの人々のくらしにかかわる実物資料や写真の展示、戦中・戦後の証言映像（オーラルヒストリー）の上映を行います。



防空演習 昭和15年（1940）
久保山栄一撮影



ポスター「小田原（ども）文化博覧会」
昭和25年（1950）

しょうけい館

戦傷病者の 労苦を伝える 神奈川展

水木しげるが伝えた戦争体験

しょうけい館（東京・九段下）は、戦傷病者とそのご家族が戦中・戦後に体験したさまざまな労苦を次の世代に伝えるための施設です。本展では、戦傷病者でありゲゲゲの鬼太郎の作者でもある漫画家の水木しげるさんが体験された戦中・戦後の労苦を紹介します。



『娘に語るお父さんの戦記』より © 水木プロ

平和祈念展示資料館

平和祈念展 in 横浜

抑留者の心に残った
シベリアでの出会い

平和祈念展示資料館（東京・新宿）は、さきの大戦における兵士、戦後強制抑留者（シベリア抑留者）、海外からの引揚者の労苦を広く知っていただくための施設です。本展では、抑留者がシベリアで体験した人々との交流や文化活動にまつわる資料を通して、異国の地での様々な出会いを紹介します。

帰国の際に
現地住民から
もらった
懐中時計



沿海州楽劇団で
抑留者が使用した
ギター



お問い合わせ先

【昭和館】

〒102-0074 東京都千代田区九段南 1-6-1
TEL: 03-3222-2577
<https://www.showakan.go.jp>

【しょうけい館】

〒102-0074 東京都千代田区九段南 1-5-13
ツカスキエア九段下
TEL: 03-3234-7821
<https://www.shokeikan.go.jp>

【平和祈念展示資料館】

〒163-0233 東京都新宿区西新宿 2-6-1
新宿住友ビル33階
TEL: 03-5323-8709
<https://www.heiwakinen.go.jp>

会場アクセス 横浜市民ギャラリーあざみ野 展示室1・2

- ▶ 電車でお越しの方 東急田園都市線「あざみ野駅」東口 徒歩5分、横浜市営地下鉄「あざみ野駅」1・2番出口 徒歩5分
- ▶ 車でお越しの方 東名高速青葉ICをおりて246号線を渋谷方面に向かい、「江田駅東」の交差点で左折。
- ▶ 駐車場のご案内 一般の方は、ご利用希望日の1週間前から電話にて予約を受付致します。大型バイクは駐車場（有料）をご利用ください。
[料金] 30分 100円（1日最大1,500円）＊障がい者用駐車スペース（2台）無料
[予約受付時間帯] 9時00分～21時00分（休館日：第4月曜日）
[駐車場予約専用電話番号] 045-914-5910

※自転車・小型バイクは駐輪場（無料）がご利用いただけます。※キャンセルの場合は必ずご連絡ください。

神奈川県横浜市青葉区あざみ野南 1-17-3
アートフォーラムあざみ野内

